

ビギナス

今! 尼が熱い!



2P ゼロカーボンベースボールパークへ行こう!

6P 子ども歳時記・子育て親育ちエッセンス

7P BOOK! BOOK! BOOK!

8P 「オレンジリボンフェスタ」のお知らせ



あまがさきキッズサポーターズ

〈ビギナス〉= begin + us = わたしたちからはじめましょ!

ゼロカーボンベースボールパークへ行こう!

プロ野球観戦者用の駐車場はありません
電車・バスをご利用ください
【阪神電車】大物駅より徒歩約5分
【阪神バス】(51系統)小田南公園より徒歩約2分
(AD1~3・52系統) 東大物町1丁目より徒歩約6分

大物駅の改札を出ます!

階段をおりてスタジアムまでまっすぐです!

連絡通路を通ります!

授乳室なども充実しています!

1 SGLスタジアム

授乳室
内野2階コンコースに1か所設置しています。

救護室
救護が必要な場合は、係の方へ声をかけてください。看護師が常駐しています。

2 小田南公園軟式野球場

おむつ交換台は、「軟式野球場」トイレに設置しています。「多目的広場」にはありません。

多目的広場

日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎

小田南公園軟式野球場

タイガース練習場

多目的広場

日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎

小田南公園軟式野球場(市民球場)

タイガース練習場

トイレル

駐輪場

野球観戦以外の駐車場

室内練習場屋上には太陽光パネルが設置されています

室内練習場 選手兼来客ハウス

コロッキーのマンホール! パーク内のどこかにあるよ! 見つけてね

試合前には、選手たちの練習を目の前で、見ることができます!

ビジョン裏には太陽光パネルが設置されています

コロッキーに会いまよ!

ゼロカーボンって何?

地球温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素などの)排出量を、森林などが吸収する量以下にすることで、温室効果ガスの実質的な排出量をゼロにすることです。

ゼロカーボンの実現のために...
再生可能エネルギーの導入や省エネの推進などにより
↓
二酸化炭素の排出量を減らすことが必要

パークにおける取り組みは?

- 太陽光発電・蓄電池の導入
スタジアムで1年間に使う電力の80%以上を発電
ビジョン裏や室内練習場屋上には太陽光パネルを設置
- 省エネの徹底
建物に必要なエネルギー消費量の削減
- クリーンセンターの廃棄物発電の活用
クリーンセンターで発電されたCO2排出量ゼロのクリーンエネルギーを活用
- 地球にやさしい製品の活用
球場内で使用する製品には、地球に優しい素材を活用
- ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクル
球場内で発生したペットボトルやプラスチックカップを分別回収してリサイクル
- 雨水・井水の活用
貯まった雨水をグラウンドへの散水やトイレの洗浄などに使用

阪神園芸は、グラウンド整備だけではない!!!

降雨のあとの野球場のグラウンド整備において“神整備”で有名な阪神園芸!
パークにある3つの野球場は、「阪神園芸」によって整備されています。

【小田南公園軟式野球場を利用した人の話】
野球場を利用する前日、1日中雨だったため、無理かな~と思っていたが、朝9時から利用でき、ありがたかったです。

芝生と雑草を共存したい。緑は生き物! 状態を見ながら育てています。
阪神園芸株FPM事業部の伊賀さんに、お話を伺いました。

パークができる前の小田南公園の姿や面影を残しながら、緑を大切に維持し、パークに来られた方々が、気持ちいいなと思ってもらえるような環境づくりをしたいです。

阪神園芸は、造園会社です!
「みどり」と「スポーツ」を通じて、永年培った豊富な経験と高いデザイン力、技術力を活かして、尼崎市の緑化に貢献しています。都市緑化事業の推進を通じて、地球環境問題に取り組んでいます。

パーク内は緑がいっぱい!

阪神園芸が管理している尼崎市内の場所...
・尼崎城址公園
・阪神尼崎駅前 中央公園
・尼崎21世紀の森

子ども歳時記

野鳥観察を楽しむ

暑さで野鳥観察から少し足が遠のいてしまいそうですが、鳥たちは元気に生活しています。兵庫県は特別天然記念物のコウノトリの主な生息地として知られています。尼崎市内でも野鳥のツバメを身近に見かけます。少々雨の中でも親ツバメは子育てのために、一生懸命に餌を運んでいます。

衣替えの時期になると、若鳥に出会える季節を迎えます。市内の公園等で、夏鳥のオオルリ、キビタキ、オオヨシキリなど、留鳥ではアオバト、カワセミ、シジュウカラ、ヒヨドリ、百舌鳥、カワ

日本には季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。

ラヒワ、メジロ、ウグイスなどに会えるかもしれません。少し涼しくなると鳥たちも活発に動き出すことから、渡り鳥の観察にはもってこいの季節となります。公園で一休みする鳥、空高く力強く渡っていく鳥の観察を楽しみましょう。

【お出かけの際の注意事項】

- ①マスクの着用 ②日よけの帽子 ③長袖の上着・長ズボンの着用 ④水分の持参 ⑤群れて行動しない ⑥ノートあれば図鑑 ⑦あれば双眼鏡

住環境コーディネーター
引地 春美



子育て親育ちエッセンス

子育てサークル『やんちゃんこ』
代表 濱田 英世



「大阪・関西万博と子ども万博」

毎日、信じられないほどの暑い日が続いています。よく挙げられる**子どもの熱中症予防**として・**こまめな水分補給**・**衣類による体温調整**・**こまめに日陰、屋内で休憩する**・**車内や屋内では適切なクーラーの使用をする**・**ベビーカーを長時間、日なたに置かない**・**顔色や身体の異変に注意する**等があります。

その他に、幼少期の子どもの身長は低いので、地面からの照り返しの影響を強く受けてしまうということがあります。そのため、大人が暑いと感じている時には、子どもはもっと高温の環境下にいるということを忘れてはなりません。例えば大人の顔の高さで32℃の時、子どもの顔の高さでは35℃程度になっているのだそうです。特にこの暑い時期のアスファルトからの照り返しには、十分気をつけてあげたいものです。

子どもは自分で自らの体調の変化を、うまく大人に伝えることができません。自分ではうまく予防ができないということです。また遊びに夢中になっていると、身体に異変が起きていても気づかないこともあります。だから、周りの大人が気にかけてみてあげることが必要なのです。もちろん、子どもだけではなく大人の方々もどうか熱中症等に罹るようなことなく、元気に楽しい夏をお過ごしください。

さて、現在尼崎市すぐお隣の大阪で、万博が開催されています。日本での開催にちなんで、少し万博のことを調べてみました。

もともと万博とは、博覧会国際事務局に登録・認定された国際博覧会のことで、世界各国が技術や文化を紹介し、国際的な交流を促進する場とされています。

近代博覧会の原型は、1475年で開催された「フランス物産展」そして、1851年に「第1回ロンドン万国博覧会」が開催され、日本が初めて国際博覧会に出展したのは、1867年の第2回パリ万博からだそうです。

そして、日本で初めて開かれたのは「1970年の大阪万博」あの太陽の塔がシンボルとなった万博です。続いて「2005年の愛・地球博」今回の「2025年大阪・関西万博」となります。

ここで、もう一つ。実は日本では2022年から「**こども万博**」というのが全国各地で開催されています。テーマは「子どもの夢を応援する1日」として、小学生から夢を募集し、その発表をしたり、夢の絵コンテスト、仕事体験や子ども店長の経験など、子どもたちが主役になって様々な活動ができるというプロジェクトです。これから成長していく子どもたち自身が自分の夢や可能性を発見し、その成長を家族で実感することを目的としているという、この家族という言葉が大切なのだと思います。子どもが成人するまで先は長いですが、その道のりにどれだけ家族が関わってあげられるか、家族として考えてあげられるか、その家族という社会の中でどのように子どもを育てていくかということ、を、絶えず大人たちが考えていなければならないと思います。人間関係が希薄になってきていると言われるこの頃だからこそ、家族の温かさ・応援してくれる人がいるんだよということ子どもたちに伝え続けていきたいものです。

次の万博は何年後に日本で開催されるのでしょうか？そう思うと家族で一度くらいは関西万博に行ってみるのもよいかもしれませんね・・・

BOOK! BOOK! BOOK!



だいたいぶ、 ここにいるよ

宮野聡子・作絵
教育画劇

さびしがりのやのこりすくんは、くまくんといっしょにいてもどこか不安がいっぱい。でも、くまくんの言葉で自分に自信をもち、元気になります。



すりすり こちょこちょ だっこでぎゅっ!

うらつかりようま／著・絵
永岡書店

やさしいスキンシップ絵本です。抱っこして読み聞かせるだけで、赤ちゃんと自然にふれあえるので幸せな気持ちになります。



つんへんちゃん

柴田ケイコ著
小学館

ピンクのもこもこのつんへんちゃん。ページをめくると新しい場面にワクワクします。さわってめくって笑えるしかけ絵本です。



おしえて おしえて かわいいの だあれ?

うらつかりようま／著・絵
永岡書店

絵がとても可愛くて、かわいい仕草をまねっこするだけで、ほっこりします。



尼崎市市内小学校司書
やえちゃん先生のお勧め絵本です!



「あまがさきキッズサポーターズ」とは?

「あまがさきキッズサポーターズ」は、尼崎で子育てに奮闘しているお父さんやお母さんを応援する自主的な活動グループです。

メンバーは、市内在住の主婦、会社員、そして子育て未経験組から卒業組まで、立場も年齢もさまざまですが、尼崎の子育て事情をよりよくしたい! という思いがあります。

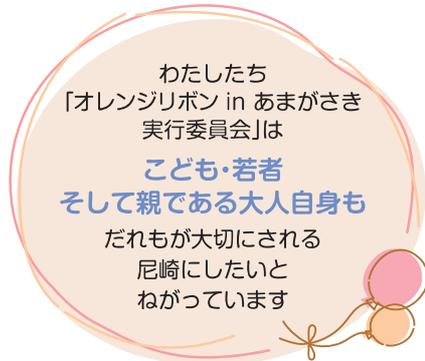
活動は、「地域の子育て支援に関する活動・イベントの情報収集」で、本情報誌「ビギナス (begin+us= 私たちから始めましょ!)」で発信しています。

ビギナスは、企画から取材・編集・誌面作成まで、キッズサポーターズが、試行錯誤しながらすべて行っています。子育て中のみなさんに、新しい尼崎市の子育て情報をお伝えできるように活動しています。



オレンジリボン in あまがさき からのお知らせです。

オレンジリボンの旗に込めた願いに共感いただいた団体が、目じるしとして掲示します！



この旗は、そんな思いに共感したみなさんがそれぞれの場所におきます。ひとりでがんばっている、ひとりで抱え込んでいる子ども・若者、親である大人、“あなた”に「ひとりじゃないよ、いっしょにできることはない？」と伝えたいと思っています。

おはなし、きかせてください。
あなたはそのまま、大事にされていい存在だとわたしたちは思っています。

【オレンジリボンinあまがさき実行委員会】
NPO法人やんちゃんこ
尼崎ユースコンソーシアム
NPO法人子どものみらい尼崎
NPO法人つなげる
一般社団法人ビジョントレーニングサポート協会
一般社団法人ポノポノプレイス
認定NPO法人Learning for ALL
尼崎子ども食堂ネットワーク
【事務局】
尼崎市社会福祉協議会

尼崎市が「オレンジリボンの旗」でいっぱいになり、やさしさがあふれる市になりますように…

ビギナスはどこでもらえるの？

公立保育所、市立幼稚園、私立幼稚園、保健所、北部・南部保健福祉センター、市民課、各サービスセンター、すこやかプラザ、つどいの広場、各生涯学習プラザ、各総合センター、中央・北図書館、各地区体育館、子育てサークル、子育て情報コーナー、教育・障害福祉センター、たじかの園、女性センタートレピエ、歴史博物館、児童家庭支援センターキャンディ、尼崎信用金庫の尼崎市内の店舗、キッズサポーターズが直接お願いしている場所などに置いています。

おことわり

本誌内の店舗・施設については、キッズサポーターズが子育て関連の情報を収集する中でご協力をお願いし、ご承諾いただいた上で掲載しているもので、営利目的ではありません。

発行日 2025(令和7)年8月
編集・発行 あまがさきキッズサポーターズ
お問い合わせ 尼崎市役所 子ども福祉課
TEL 06-6489-6349・FAX 06-6482-3781
Ama-kodomo-support@city.amagasaki.hyogo.jp
〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

編集後記

初めまして。新人のイナゾウです。息子は今年中学生になりました。
子どもが小さい時から見ていたビギナスの編集に携わる事ができるなんて、まるで夢の様です。

平成から令和へ。時代はちょっとだけ動きましたが、尼の子育てはやっぱり面白いよ～のエッセンスをちりばめながら、お届けできる一冊になれば幸いです。